



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月6日

上場会社名 ステラケミファ株式会社

上場取引所 東

コード番号 4109 URL <https://www.stella-chemifa.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 深田 純子

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部長 (氏名) 中島 康彦

TEL 06-4707-1512

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	9,733	△4.0	847	△10.8	754	△26.7	466	△19.7
2019年3月期第1四半期	10,134	24.2	949	6.9	1,029	31.7	581	22.2

(注)包括利益 2020年3月期第1四半期 430百万円 (△16.6%) 2019年3月期第1四半期 516百万円 (29.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	36.15	—
2019年3月期第1四半期	45.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	52,795	33,963	62.4	2,552.22
2019年3月期	55,454	33,918	59.2	2,541.77

(参考)自己資本 2020年3月期第1四半期 32,956百万円 2019年3月期 32,821百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	20.00	—	25.00	45.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	22.00	—	23.00	45.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,800	△1.5	2,450	△30.5	2,550	△33.1	1,700	△27.7	131.65

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	13,213,248 株	2019年3月期	13,213,248 株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	300,267 株	2019年3月期	300,267 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	12,912,981 株	2019年3月期1Q	12,913,063 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想の利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信「添付資料」2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における国内経済は、製造業を中心に景況判断は慎重な見方が増加傾向にあり、米中貿易摩擦による景気減速の懸念など、先行きは依然として不透明な状況が続いています。

このような環境のもと、当社グループは国内外の情報通信産業を中心に、顧客のニーズに基づいた多種多様なフッ化物製品の供給を行うとともに、特殊貨物輸送で培った独自のノウハウに基づいた化学品の物流を担う事業展開を行ってきました。

当第1四半期連結累計期間の業績におきましては、半導体市場が活況であった前年同期に比べ、米中貿易摩擦などを背景に半導体液晶部門の輸出販売が減少したことにより、売上高は97億33百万円（前年同期比4.0%減）となりました。

利益面におきましては、主要原材料の無水フッ酸価格は足元では上昇に転じていますが、当第1四半期累計期間においては前年同期に比べ価格は比較的安定・低下し、売上高減少の影響を一部吸収した結果、営業利益は8億47百万円（同10.8%減）となりました。また、原材料購入における為替リスクのヘッジを目的として取り組んでいるデリバティブ取引について、前年同期に計上したデリバティブ評価益2億93百万円が、当第1四半期連結累計期間ではデリバティブ評価損29百万円を計上したことから、経常利益は7億54百万円（同26.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億66百万円（同19.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて28億25百万円（9.2%）減少し、280億32百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が16億37百万円、受取手形及び売掛金が7億37百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1億66百万円（0.7%）増加し、247億63百万円となりました。主な要因は、有形固定資産が44百万円、無形固定資産が45百万円、投資その他の資産が77百万円それぞれ増加したことによります。

この結果、総資産は527億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億58百万円減少しました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて24億36百万円（19.3%）減少し、102億5百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が6億85百万円、未払法人税等が7億42百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて2億66百万円（3.0%）減少し、86億26百万円となりました。主な要因は、長期借入金が4億77百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、188億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ27億3百万円減少しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は339億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ44百万円増加しました。

主な要因は、利益剰余金が74百万円、為替換算調整勘定が93百万円それぞれ増加し、非支配株主持分が96百万円減少したことなどによります。

この結果、自己資本比率は62.4%（前連結会計年度末は59.2%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年5月10日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,044	12,407
受取手形及び売掛金	9,678	8,941
商品及び製品	2,903	2,544
仕掛品	1,547	1,662
原材料及び貯蔵品	1,732	1,811
その他	970	683
貸倒引当金	△20	△18
流動資産合計	30,857	28,032
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,987	6,800
機械装置及び運搬具（純額）	6,043	5,940
土地	5,467	5,467
建設仮勘定	2,016	2,193
その他（純額）	1,814	1,970
有形固定資産合計	22,329	22,373
無形固定資産		
その他	565	610
無形固定資産合計	565	610
投資その他の資産		
その他	1,720	1,797
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	1,702	1,779
固定資産合計	24,596	24,763
資産合計	55,454	52,795

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,012	2,327
短期借入金	1,930	1,950
1年内返済予定の長期借入金	2,281	2,078
未払法人税等	1,186	443
賞与引当金	376	189
その他	3,855	3,216
流動負債合計	12,642	10,205
固定負債		
長期借入金	6,857	6,379
退職給付に係る負債	845	844
役員退職慰労引当金	561	570
資産除去債務	507	510
その他	122	321
固定負債合計	8,893	8,626
負債合計	21,536	18,832
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,829	4,829
資本剰余金	7,152	7,152
利益剰余金	21,098	21,173
自己株式	△496	△496
株主資本合計	32,585	32,660
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32	47
繰延ヘッジ損益	—	△47
為替換算調整勘定	203	297
その他の包括利益累計額合計	236	296
新株予約権	8	15
非支配株主持分	1,088	991
純資産合計	33,918	33,963
負債純資産合計	55,454	52,795

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	10,134	9,733
売上原価	8,086	7,746
売上総利益	2,048	1,986
販売費及び一般管理費	1,098	1,139
営業利益	949	847
営業外収益		
デリバティブ評価益	293	—
持分法による投資利益	—	15
その他	20	26
営業外収益合計	314	42
営業外費用		
支払利息	9	10
為替差損	88	82
持分法による投資損失	133	—
デリバティブ評価損	—	29
その他	3	13
営業外費用合計	234	135
経常利益	1,029	754
特別利益		
固定資産売却益	6	15
特別利益合計	6	15
特別損失		
固定資産廃棄損	1	50
特別損失合計	1	50
税金等調整前四半期純利益	1,034	719
法人税等	350	359
四半期純利益	684	359
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	102	△107
親会社株主に帰属する四半期純利益	581	466

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	684	359
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	14
繰延ヘッジ損益	△7	△47
為替換算調整勘定	△114	66
持分法適用会社に対する持分相当額	△46	37
その他の包括利益合計	△168	70
四半期包括利益	516	430
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	422	527
非支配株主に係る四半期包括利益	93	△96

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(会計方針の変更)

一部の在外連結子会社において、当第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しています。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産および負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に計上しています。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の「有形固定資産」の「その他(純額)」が145百万円増加し、流動負債の「その他」が26百万円および固定負債の「その他」が160百万円増加しています。当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微です。また、利益剰余金の当期首残高は66百万円減少しています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	高純度薬品	運輸	メディカル	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,001	1,088	—	10,090	44	10,134
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	870	—	870	49	919
計	9,001	1,958	—	10,960	94	11,054
セグメント利益又は損失(△)	952	223	△243	932	8	941

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理事業、自動車整備事業を含んでいます。

2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	932
「その他」の区分の利益	8
セグメント間取引消去	8
四半期連結損益計算書の営業利益	949

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	高純度薬品	運輸	メディカル	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,575	1,120	—	9,696	37	9,733
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	831	—	831	57	888
計	8,575	1,951	—	10,527	94	10,621
セグメント利益又は損失(△)	955	166	△282	839	6	845

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理事業、自動車整備事業を含んでいます。

2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	839
「その他」の区分の利益	6
セグメント間取引消去	1
四半期連結損益計算書の営業利益	847

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。